

浜松 21世紀都市交通会議

平成20年3月17日設置



概要

本会議は、浜松市における交通政策を総合的に推進するための協議、提言を行うとともに、地域公共交通総合連携計画（以下「連携計画」という。）の作成に関する協議及び連携計画の実施に係る連絡調整を行うことを目的とする。

○地域公共交通の現況

- ・JR東海道本線・新幹線(5駅)、JR飯田線(13駅)
- ・遠州鉄道(18駅)、天竜浜名湖鉄道(38駅)
- ・民営バス(500系統程度)(遠州鉄道、浜松バス、秋葉バスサービス)
- ・市営バス(運行地域：浜北区、天竜区、北区)

○地域公共交通の課題

- ・旧市町村のバス路線の引き継ぎにより、サービス格差が生じ、効率的でない路線が存在する。
- ・中山間・過疎地域は、高齢化により生活交通の確保が必要。
- ・バス利用者減少により、バス路線の減便・廃止が相次ぐ。
- ・現在のバス路線は市民ニーズに合ったネットワークでない。等

○調査の主な内容

- ・現況交通実態調査及びデータ分析
- ・市民ミーティング
- ・利用者アンケート調査(市民の顕在ニーズの把握)
- ・市民アンケート調査(市民の潜在ニーズの把握) 等

○地域公共交通総合連携計画の構想(予定)

- ・将来公共交通ネットワークの検討
- ・公共交通の維持及び新規導入の基準・ルールの検討
- ・公共交通利用促進策の検討
- ・個別バス路線の改善の検討
- ・アクションプログラムの検討

